

Photo Gallery

まちの話題や風景を写真で紹介



市内で観測開始以来最高気温となる39.2度を記録。さらに、翌日には38.2度を観測し、2日連続で全国一の暑さとなりました。(8月30日・31日、市内)



日野小学校3年生が6月から育てる市の特産品・金ゴマの乾燥準備を実施。地域住民とともに葉を刈って逆さに吊ると、実やゴマが落ち始めました。(9月15日、日野小学校)



市民会館閉館事業のひとつ、「子育てフェスティバル」で、人形劇団クラルテによる劇を上演。訪れた親子らが見入っていました。(9月6日、西脇市民会館)



8月31日の「やさいの日」にちなみ、友好都市・北海道富良野市の特産品・トウモロコシを販売。産地から空輸した400本はすぐに完売しました。(8月29日、北はりま農産物直売所)

社会福祉の向上・地域社会の発展に役立てて

〔9月17日 西脇市役所〕



母親に代わって片山市長から感謝状を受け取る齋藤さんの弟・永井隆夫さん(左)

昨春秋に交通事故で亡くなった齋藤幸子さん(板波町)の母親、永井コムメさんから1千万円を寄付いただきました。生前、齋藤さんは民生委員・児童委員を務めたほか、手話や要約筆記の通訳者としても活躍。寄付は齋藤さんの遺志を継承し、社会的弱者の支援や地域活動の充実に活用します。

災害発生時に生活用水を確保—協定締結

〔9月1日〕



大阪市消防局との合同で行われた消火活動訓練で、ミキサー車から消防用水を確保(写真=組合提供)

西脇市は大阪広域生コンクリート協同組合と「災害時における消防用水等の供給支援に関する協定」を締結しました。協定は、災害時にコンクリートミキサー車で生活用水の提供を受けるもの。避難所のトイレや洗濯などに活用し、衛生環境を整えます。また、消防用水としても活用します。

西脇・多可の古代に迫る

〔9月13日 播磨内陸生活文化総合センタードウジアム〕



京都府立大学教授の菱田哲郎さんが、西脇市域を中心としたこれまでの調査成果を解説

古代に「多可郡」を構成していた西脇市と多可町の歴史を解説する特別講演会に、約50人が参加しました。講演会は多可町と実施する「北はりま定住自立圏事業」として開いたもの。野村・芳田地区にあった八坂廃寺と野村廃寺の特徴など、参加者は古代の地域の様子に耳を傾けました。



繊細な鉛筆画のほか、にじみやぼかしを取り入れた水彩画など20点が並び第1展示室



模型で表現した4次元正多胞体。館内には作って遊べるコーナーがあり、子どもも楽しめます

岡之山美術館で、企画展「宮崎興二の4次元ミュージアム展」の後期展示を開始しました。宮崎さんは建築や図形科学などをテーマに、独創的な創作活動を展開。また、大学教授としても活躍し、展覧会では宮崎さんと教え子らの平面、立体作品約50点を紹介してい

ます。第3展示室には、宮崎さんが5年かけて制作した水彩抽象画を展示。前期には横向きで展示した作品を、後期では縦に変えることで、違った見方が楽しめます。会期は12月6日まで。月曜日(祝日の場合は翌日)、祝日の翌日は休館。

工学者が4次元の世界を表現

〔9月6日〕 岡之山美術館



日差しが強い中行われた奉仕作業

西脇建設業協会や兵庫県電業協会の皆さんが、市内3カ所で路肩の草刈りや歩道の植え込みを剪定する奉仕作業を行いました。西脇建設業協会は平成11年から毎年、6月1日の「善意の日」に合わせて、道路の美化活動を実施。今年は全国的な新型コロナウイルス感染症の拡大を考慮して延期されていました。この日参加した約60人の作業員は、丁寧に作業を進めました。

住みよいまちを目指して

〔9月1日 市内各所〕



職場でのハラスメント対策を解説する特定社会保険労務士の沼澤郁美さん(右)

今年6月に職場におけるハラスメント防止対策を義務付けた「女性活躍・ハラスメント規制法」が施行されたことを受け、市人権教育協議会が「人権教育企業セミナー」を開催しました。特定社会保険労務士の沼澤郁美さんを講師に迎え、企業や福祉施設の職員ら約20人が、ハラスメントに関する法律や基礎知識のほか、男女共同参画社会の推進を学びました。

働きがいのある職場づくりへ

〔9月4日 茜が丘複合施設みらいえ〕

まちの話題

このコーナーでは、イベントやまちの話題、団体の活動などを紹介しています。耳寄りな情報は秘書広報課まで(市役所内線207)。

紙面に載せきれないまちの話題がどんどん届きます。西脇市 Facebook で情報発信中!